

報告

能登半島地震
災害復旧支援

能登半島地震における 中部支部石川県部会の支援状況 について

中部支部石川県部会 事務局

今年の3月25日に能登半島を襲ったマグニチュード6.9の大規模地震。震源となった輪島市門前地区では、一帯でマンホールの浮上や管渠の破損に起因する道路陥没が発生した。この非常事態に対し、本協会の中中部支部石川県部会が緊急の災害支援要請を受け、会員企業13社がその対応にあたった。今回は、その時の状況を石川県部会事務局に報告していただいた。

1. 支援概要

平成19年3月25日（日）午前9時42分に能登半島地震（M6.9）が発生し、翌日の26日に車1台、作業員6名にて初動作業を開始したが、思った以上に被害が大きく、同日15時14分に支援要請を受けた。また、4月2日には石川県道路公社から能登有料道路の横断暗渠調査を依頼され、4月14日には、志賀町から農業集落排水のTVカメラ調査を依頼された。

2. 輪島市門前地区第一次支援

3月26日～4月6日（12日間）

作業内容：管渠清掃および幹線管渠が流下不能になった区間に仮設ポンプを設置し排水が可能となるまで吸引車にて汚水を処理場へ搬送する。

出動延数：作業車両176台

作業人員269人

3. 輪島市門前地区TVカメラ調査

4月9日～4月19日（11日間）

作業内容：二次調査の実施（管路延長 約18,000m）

出動延数：作業車両223台

作業人員341人

4. 能登有料道路横断暗渠調査

4月3日～4月11日（9日間）

作業内容：徳田大津IC～比木ICでは横断暗渠74箇



写真-1 液状化現象で浮上したマンホール（門前地区）



写真-2 下水道管に起因する歩道の陥没（門前地区）



写真-3 門前地区における支援活動の状況



写真-4 クラックが発生し浸入水が管内に（門前地区）



写真-5 地震により崩壊した能登有料道路

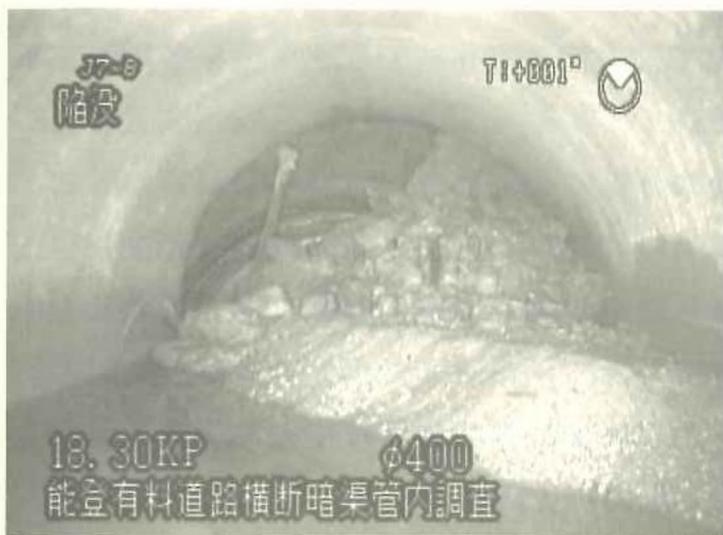


写真-6 土砂の侵入によって詰まった横断暗渠（能登有料道路）



写真-7 TVカメラによる調査の状況（志賀町）

表 能登半島地震の災害復旧支援活動の集計

支援活動名	作業内容	作業車両	作業人員
輪島市門前地区1次支援	清掃・汚水運搬	176台	269人
門前地区TVカメラ調査	L=18,000m	223台	341人
能登有料道路横断暗渠調査	74箇所	52台	150人
志賀町農集TVカメラ調査	L=8,410m	82台	131人
合計		533台	957人

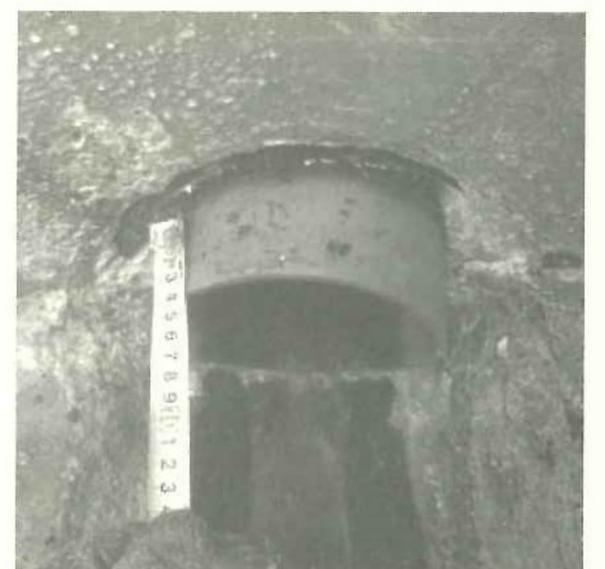


写真-8 地震動によって突き出した管渠（志賀町）

所の堆積土砂除去および目視・TVカメラ調査の実施

出動延数：作業車両52台
作業人員150人

5. 志賀町農業集落排水TVカメラ調査

4月17日～4月20日（4日間）

作業内容：TVカメラ調査および人孔目視調査の実施（管路延長約8,410m、マンホール277箇所）

出動延数：作業車両82台
作業人員131人

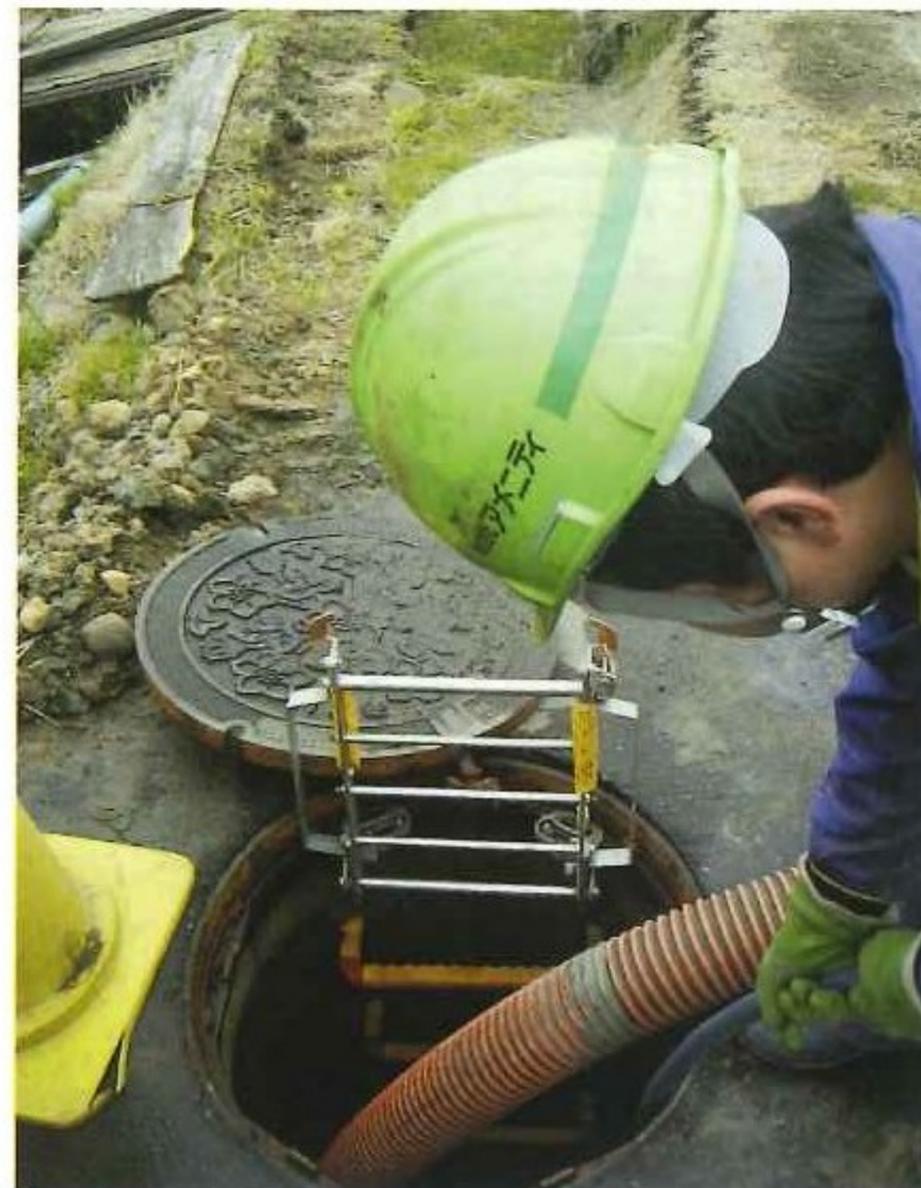
6. 災害復旧支援活動の集計

3月26日～4月20日までの26日間で、延べ作業車両533台、作業人員957人が支援活動に参加した。特に被害の大きかった輪島市門前地区の支援活動には、多くの車両、人員が投入された。

7. 石川県部会としての要望

今回の災害を教訓にして、行政当局と共に使えるような「防災対策マニュアル」の再構築が望まれる。

平成19年3月25日に発生した能登半島地震では中部支部・石川県部会の13社が協力を行った。



能登半島地震